

2023年11月吉日

小児難聴関連教育・福祉・医療機関各位

静岡県乳幼児聴覚支援センター
センター長 高木 明
研修担当 静岡県立総合病院
言語聴覚士 上田裕子

小児難聴療育担当者研修会 令和5年度 第2回
「片耳難聴のこどもの理解と支援（仮題）」ご案内

向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より難聴児・人工内耳装用児の教育・療育にあたり、格別のご理解ご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

静岡県では100%近い新生児聴覚スクリーニング検査実施とともに、早期から難聴の診断、補聴開始が可能となりつつあります。当静岡県乳幼児聴覚支援センターでは難聴と診断され介入が必要となったお子さん達やそのご家族に対し、より充実した言語・コミュニケーション面の情報・療育・教育が提供できるよう、関連職種の皆様とともに学び、実践ができることを目的に、研修会を企画開催しております。この度、令和5年度第2回の研修会の開催にあたり、主に静岡県内の小児の療育・教育に携わる教育機関や福祉機関、医療機関関係者の皆様にご案内させていただきます。

第2回は、片耳難聴のこどもの理解と支援について、群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科講師・言語聴覚士の岡野由実先生をお招きし講演いただきます。新生児聴覚スクリーニング検査の普及とともに、片耳難聴のお子さんがごく早期に診断されることも増えていますが、両側難聴に比して、その理解や支援の必要性については軽視されがちです。本研修会において診断・介入に関わる先生方、当事者ご家族とともに理解を深め、充実した支援につなげたいと思います。

業務ご多忙の折、恐縮に存じますが、貴施設におかれまして関係される先生、ご興味のある先生へのご案内、また担当されている難聴児ご家族へのご案内につき、ご高配賜りたく存じます。多くのご参加をお待ちしております。

記

- 1, 開催日時 : 令和6年1月20日 (土) 13:00 ~ 16:00
- 2, 対象 : 医療機関・教育機関・保健福祉行政機関で小児難聴の診断・介入に携わる方
難聴当事者、ご家族
- 3, プログラム : 13:00 開会
13:05 講演
「片耳難聴のこどもの理解と支援（仮題）」
岡野由実先生 群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科講師
(途中休憩あり)
15:45 質疑応答
16:00 閉会
- 4, 開催方法 : 対面開催と ZOOM 開催の併用
対面開催会場 : 静岡県立総合病院 先端医学棟 5階 講義室
420-8527 静岡市葵区北安東 4-27-1
- 5, 参加費 : 無料

6, お申し込み :

申し込みフォーム (google form 下記 URL・QR コード)

よりお申込みください。

<https://forms.gle/cjQrLYw7G11xuEyB9>



申し込み締め切り : 令和 6 年 1 月 10 日 (火)

- ※ 参加定員は対面会場参加 40 名、ZOOM 参加 50 名です。定員を超えた後のお申し込みにはこちらよりご連絡いたします。
- ※ 感染症流行状況により、開催中止、開催方法の変更の場合があります。ご了承ください。
- ※ お申込み後、対面開催の会場詳細、ZOOM ミーティング ID・パスワードのお知らせ等のご連絡を下記記載の当研修会専用アドレスよりメールにて行います。申込フォームに記載いただくアドレスで、メール受信ができるよう、受診許可設定等をご確認ください。
- ※ リアルタイム字幕による情報保障を行います。

7, お問い合わせ先 :

静岡県乳幼児聴覚支援センター研修担当 (静岡県立総合病院耳鼻咽喉科言語聴覚士) 上田裕子

e-mail kenshu.szinfhearingctr@gmail.com

FAX 054-247-6171 (センター直通)

電話 054-247-6111 (県立総合病院代表) 言語聴覚士 上田裕子 呼出

※ なるべくメールでのご連絡をお願いいたします。

講師紹介

岡村由実先生 群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科 講師

言語聴覚士 (2009 年 国立障害者リハビリテーションセンター学院言語聴覚学科 卒業)

筑波大学第二学人間学類 卒業、筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻後期課程修了、博士号 (リハビリテーション科学) 取得。

川崎市中部地域療育センター、東京都心身障害者福祉センター、川崎市中央療育センター、目白大学耳科学研究所クリニックを経て 2021 年より現職。言語聴覚士として東京都内大学病院やろう学校での臨床活動も継続。現在、言語聴覚士養成に携わられながら、ご自身の研究分野、聴覚領域、特に一側性難聴、両側軽中等度難聴に関する研究に取り組まれています。また地域での聞こえの相談会の開催や、現職の言語聴覚士への研修、他職種に対する言語聴覚士の啓発活動を行われる他、片耳難聴当事者として、当事者団体・きこいろを主催 (ホームページ : [きこいろ・片耳難聴の情報・コミュニティサイト \(kikoiro.com\)](http://kikoiro.com))、精力的に片耳難聴に関する情報発信・啓発活動を行っておられます。著書に『聞こえ方はいろいろ 片耳難聴 Q&A』 (学苑社)。